

日本小児外科学会  
令和2年度第4回定例理事会

日時：令和2年11月4日（水）11：00～15：00

会場：AP品川アネックス 地下1階 I ルーム

出席者：田尻達郎(理事長)、増本幸二(副理事長)、山高篤行(前会長)、黒田達夫(理事・会長)、越永従道(理事・次期会長)、臼井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔(以上理事)、窪田正幸、八木 實(以上監事)、藤野明浩(庶務委員長)、浦尾正彦(財務会計委員長)、上原秀一郎(財務会計副委員長)、照井慶太(庶務副委員長)、菱木知郎(専門医認定委員会委員長)、古村 眞(専門医制度庶務委員会委員長)、廣部誠一(第36回秋季シンポジウム会長)、山田洋平(庶務委員)、仁田尾慶太、登坂早百合(以上事務局)

欠席者：宮野 剛(庶務委員)、家入里志(施設認定委員会委員長)

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は田中 潔、理事、野田卓男理事とした。

2. 令和2年度第3回定例理事会議事録につき全会一致にて承認された。

3. 審議事項

1) 第57回学術集会について(山高前会長)

山高前会長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

・参加状況について、事前登録が918名。

内訳は以下のように報告された。

医師・企業：926名（Web参加：731名 会場参加：195名）

初期研修生・メディカルスタッフ：34名（Web参加：23名 会場参加：11名）

医学部学生：14名（Web参加：13名 会場参加：1名）

名誉・特別会員：26名

招待者：16名

スタッフ：86名

協賛各社：180名

計1,282名（うち参加費登録者960名）

・演題数については619演題。

内訳は以下のように報告された。

ポスター発表：460演題

口演：159演題

当初の675演題からCOVID-19感染拡大に鑑み、海外からの33件、懇親会余興演題2件をお断りした。その後、国内から口演4件、ポスター21件の演題取り下げがあり最

最終的に 619 演題となる。

- ・ 1 月に会計の報告を出来るよう進めている。

## 2) 第 58 回学術集会について(黒田会長)

黒田会長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

- ・ Hybrid 形式で会場レイアウトも含め、準備を進めている。

日時：令和 3 年 4 月 28 日（水）、29 日（木）、30 日（金）

会場：パシフィコ横浜ノース

テーマ：自然の臣たるなかれ

## 3) 第 59 回学術集会について(越永次期会長)

越永次期会長より、進捗状況が報告され承認された。

- ・ 日程と会場以外は現在、検討中。
- ・ 今後の学術集会のあり方も含め、今年・来年の様子もみて形式を検討していく方向。
- ・ ジョイントセッションを行う際には学会に報告。

日時：令和 4 年 5 月 19 日（木）、20 日（金）、21 日（土）

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム

テーマ：創業と守成 Create and Sustain

## 4) 第 36 回秋季シンポジウムについて(廣部秋季シンポジウム会長)

廣部秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

- ・ 完全 Web 開催。11 月 5 日（木）から 26 日（木）までオンデマンド配信。
- ・ 参加登録締め切りは 10 月 25 日。
- ・ 参加費 10,000 円。現在参加人数は 200 人弱。
- ・ 随時、メール配信等で募集をすることをしていくこととなった。
- ・ 感謝状の件は藤野庶務委員長と今後話し合うこととなった。

日時：令和 2 年 11 月 7 日（土）

会場：Web にて実施予定

テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

## 5) 第 37 回秋季シンポジウムについて(金森次期秋季シンポジウム会長)

金森次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

- ・ Web 併用する場合、秋季シンポジウムと PSJM でまとめて参加費をもらうのを候補にあった。
- ・ 補助金 120 万円と追加プラス 200 万円の追加補正予算を組むこととなった。

日時：令和 3 年 10 月 30 日（土）

会場：ベルサール神田

テーマ：小児外科疾患に対する再生医療・細胞療法研究と応用

6) 第 38 回秋季シンポジウムについて(野田次々期秋季シンポジウム会長)

野田次々期秋季シンポジウム会長より、以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・ Hybrid 形式で行うと通常より 200 万弱の増額がかかると予想され、検討していると報告があった。

日時：令和 4 年 10 月 29 日（土）

会場：岡山コンベンションセンター

テーマ：小児外科治療後のサルベージ

7) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会(藤野委員長)

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

令和 2 年 9 月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,725 名（うち海外 1 名）、評議員を除く準会員 11 名、評議員 318 名、名誉会員 59 名（うち海外 8 名）、特別会員 70 名（うち海外 1 名）の合計 2,183 名であると報告された。

- ・ 特別会員で退会希望があった件は、事務局からご本人に再度確認し、郵便による案内等の連絡は遠慮するが特別会員のままであることはご承諾頂いた事が報告された。
- ・ ZOOM を契約をしたため、使用規定を WebEX および ZOOM の規定とし、また会員がこれらの web 会議ソフトの扱いに慣れてきたため使用法等は省略した。
- ・ 選挙に関する変更に対しても説明が行われた。ホームページ掲載、メール配信にて会員に通知することとなった。

(2) 財務会計委員会(浦尾委員長)

浦尾委員長より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・ クレジットカード作成により ZOOM 契約がなされたことが報告された。
- ・ 学会ホームページへの寄付金・バナー広告申請について国際・広報委員会に原案を渡し、今後掲載の予定であることが報告された。
- ・ 海外名誉会員招聘の補助金に関して、第 57 回学術集会で招聘予定の方が来れなかった為、次回の第 58 回に使用することが報告された。
- ・ 12 月に行われる財務会計委員会の中間報告を 1 月の理事会で報告する予定。

(3) 専門医制度委員会(菱木知郎専門医認定委員会委員長、古村 眞専門医制度庶務委員会委員長)

菱木知郎専門医認定委員会委員長、古村 眞専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、進捗状況が報告され承認された。

菱木知郎専門医認定委員会委員長より以下のことが報告された。

- ・試験は予定通り 11 月 15 日（日）開催予定。COVID の影響で人員不足が考えられ、11 月 12 日（木）まで様子を見て足りない場合は施設認定委員会の委員に応援を頼む予定。
  - ・ COVID-19 の影響で来れない受験者は全額返金することとなったことが報告された。
- 田尻達郎理事長より、資料に基づき、サブスペシャルティ領域専門医制度について報告がされ、来年早々に会員各施設に周知の方法を案内する手段を検討する方針となった。

(4)機関誌委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(5)国際・広報委員会(田尻担当理事)

田尻担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(6)保険診療委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より、資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・令和 4 年度の診療報酬改定に向けて準備を進めていることが報告された。

(7)教育委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・卒後教育・内視鏡セミナーが出来なかったので来年度同じ講師にお願いしたことが報告された。
- ・再来年以降も Hybrid 形式を念頭に入れていることが報告された。

(8)悪性腫瘍委員会(大植担当理事)

大植担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(9)学術・先進医療検討委員会(臼井担当理事)

臼井担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・「乳児仙尾部奇形腫の長期予後に関する全国アンケート調査」に関して審議を行った。アンケートの施行自体に関しては問題ないとの結論であったが、委員から出た様々な意見を添えて回答した。
- ・ホームページの手術動画コンテンツについて、修正が完了し、動画のコンテンツについては、会員の利便性を損ねるとの観点から、新コンテンツからは会員ログインのみで閲覧できるシステムに変更したこと報告された。
- ・学術集会優秀ビデオの選定については 9 演題がノミネートされた。重要性、教育性、完成度の観点から委員による厳正な審査が行われ、以下の 2 演題が優秀ビデオとして選定され、すでにホームページより閲覧できる状態となっている。
- ・新生児全国調査の進捗状況について初めて NCD-P 内のデータベースを利用した 2018 年の新生児全国調査の内容は、2020 年 9 月 19 日に学会で委員会報告として発表された。原稿は 12 月号の小児外科学会雑誌に掲載される予定であることが報告された。この際、今後のトラブルを避けるため覚書を作成。事務局を通して内容などを司法書士に確認することとなった。

(10)倫理・医療安全管理委員会(野田担当理事)

野田担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・医療事故調査委員、医療事故裁判等の鑑定人への許諾についてのアンケートについて行ったことが報告され、結果は回答：159名、承諾：137名、非承諾：22名であった。このアンケートに関しては4年ごとに行う事が提案されたが2年後にすることとして承認され、内規に記載することとなった。
- ・第58回学術集会の倫理・感染講習会については委員からの推薦が多く絞っている最中であることが報告された。

(11) データベース委員会(田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、承認された。

- ・日本小児外科学会が保有するデータを用いた臨床調査研究について使用するデータを追加したいとあり、承認された。

(12) 小児救急検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・救急受け入れ状況調査のアンケートを8月31日末締めで行ったが集まった件数が半数だったため、11月30日までに締め切りを伸ばして再調査を促し、データを確認してもらう一度リマインドをする方針となった。回答がなかった場合は空欄にすることで承認された。

(13) トランジション検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(14) ワークライフバランス検討委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・学会会期中に第8回講演会が行われたことがあり報告された。

(15) 規約委員会(金森担当理事)

金森担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(16) 研究倫理委員会(野田担当理事)

野田担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・第57回学術集会の抄録の倫理規定のチェックについて再度、研究倫理委員会にてチェックを行っている。11月20日締め切りであると報告された。

(17) NCD 連絡委員会(臼井担当理事)

臼井担当理事より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・第10回NCD-小児外科領域会議実施について現地30人弱+web80人弱で例年相当の出席があった。次回第11回会議については予定通り第58回学術集会会期中に組み込む方針となった。
- ・学会としての小児外科専門医の地域ごとの適正数を判断するための基礎データについては12月の総合調整委員会に報告予定。
- ・2021年度NCD-P改修作業について、2021年度NCD術式変更一覧の確定データがNCDから提示されたことを受けて、NCD小児外科領域の仕様に関わる改訂作業を行い、NCD事

務局に提出した。

・NCD 小児外科領域アニュアルレポートの進捗状況について、アニュアルレポート解析（2017 年と 2018 年の 2 年間分）に関して、年明け目標に投稿準備を鋭意進めている。2019 年分に関しては、並行して行う方針となっている。

・オーディット（サイトビジット）のありかたについて、例年、年末から翌年春にかけ施設を選んでサイトビジットで行うこととしているが、本年度は COVID-19 感染拡大の状況下で例年通りのサイトビジットの施行は困難との意見が多く、他領域や学会での実施状況などの情報を収集し、それを踏まえて改めて検討することとなった。

(18) ガイドライン委員会(金森担当理事)

金森担当理事より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・腸回転異常症診療ガイドラインについては現在、推奨文が作成中であることが報告された。
- ・外科学会のパネルディスカッションで『小児外科における診療ガイドラインの現状と課題』という演題に委員会から伊勢一哉先生が推薦され、承認された。

(19) 利益相反委員会(金森担当理事)

金森担当理事より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

(20) 総合調整委員会(増本委員長)

増本委員長より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・令和 2 年度第 1 回総合調整委員会議事録案につき報告され承認された。

(21) 日本外科学会理事会(田尻理事長)

田尻理事長より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・第 122 回日本外科学会定期学術集会小児外科領域プログラム案を提出されたことが報告された。

(22) 四者協関連(越永前理事長)

越永前理事長より、今回特に報告事項が無い旨を述べられた。

8) 選挙管理委員会（藤野選挙管理委員長）

藤野選挙管理委員長より以下の点について報告がなされ、承認された。

- ・第 25 回評議員選挙経過報告にそって報告され、新評議員選挙システムに置けるこれまでのシステムとの違い（修正・確認不能であること）が報告された。また、変更に伴うトラブル防止のため、開始前に新システムの注意点を会員にメール配信、ホームページにて連絡し、1 週間遅らせて投票開始することとした。

9) 医療品・医療機器検討委員会の設立について（田尻理事長）

田尻理事長より資料に基づき、報告がなされ承認された。

- ・小児外科医療に関与した医薬品・医療機器の薬事承認、保険収載、適応拡大などを審議

し、学会として必要であれば行政への要望を行うことを検討する委員会が必要と考えられ設立の提案がされ承認された。特設委員会として設立することとなった。担当理事を田尻理事長、委員長を和田基先生とし、規則案を規約委員会に確認してもらうこととなった。また、暫定委員として保険診療委員会委員長の古田先生、学術・先進医療検討委員会委員長の渡辺先生など他数名で活動を開始し名簿、規則は次回の理事会で提出することとなった。

#### 4. 報告事項

##### 1) 理事長報告(田尻理事長)

- (1) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！Vol.182」を受領した。
- (2) 日本医学会からの寄贈本「2020年度日本医師会医学賞ならびに医学研究奨励賞受賞者決定の報告について」を受領した。
- (3) 大阪医科大学女性医師支援センターからの寄贈本「活動年報」を受領した。
- (4) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレター No198」を受領した。
- (5) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 10月号」を受領した。
- (6) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について」を受領した。
- (7) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.376」を受領した。
- (8) NCD事務局からの寄贈本「記念誌データ送付のご案内」を受領した。
- (9) 日本医学会からの通信文「第157回日本医学会シンポジウム、第28回日本医学会公開フォーラム開催形態変更について」を受領した。
- (10) 「第157回日本医学会シンポジウム、第28回日本医学会公開フォーラム開催形態変更について」を受領した。
- (11) 「「日本医学会 COI 管理ガイドライン 2020(Digest 版)」公表のお知らせについて」を受領した。
- (12) 「「日本医学会 e-News No.2」の発行について」を受領した。
- (13) 「アテゾリズマブ製剤の最適使用推進ガイドラインの作成及び一部改正について」を受領した。
- (14) 「ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドラインの一部改正について」を受領した。
- (15) 「ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の対象者等への周知について」を受領した。
- (16) 「医師のセカンドキャリアと地域医療を支えるネットワークについて」を受領した。
- (17) 「献血血液の研究開発等への使用に関する公募の実施について」を受領した。
- (18) 「小児の臓器移植および免疫不全状態における予防接種ガイドライン(追補版)の承認依頼について」を受領した。
- (19) 「新型コロナウイルスワクチン戦略相談(無料)の新設について」を受領した。
- (20) 「日本医学会シンポジウム・公開フォーラム DVD の発送の取りやめについて」を受領した。

(21) 「切開創 SSI に対する NPWT 機器の適正使用にかかる提言について」を受領した。

2) その他の報告

(1) 第 122 回日本外科学会定期学術集会 プログラムにつきまして

田尻理事長より資料に基づき、報告がなされ承認された。

・第 122 回日本外科学会定期学術集会小児外科領域プログラム案を提出されたことが報告された。

3) 次回定例理事会日程の確認(田尻理事長)

次回定例理事会は令和 3 年 1 月 13 日 (水) 11 : 00 ~ 16 : 00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_

理 事 \_\_\_\_\_